

2025 年 7 月 9 日

活動報告書（4 月～6 月）

プロジェクト名：同志社ローム記念館プロジェクト けいはんなアバターチャレンジプロジェクト

作成者：江川実都

1. 4 月～6 月の目標

5 月のけいはんなアバターチャレンジ大会において、本プロジェクトから 3 台出場する。ならびに、表彰台（1～3 位）の独占。

6 月以降は新体制でのチーム再始動を行う。

2. 活動内容とその成果

* イベント別、チーム別、月別などカテゴリごとに分かりやすく分け、自由に記述してください。画像添付可。

4 月

地上移動型アバターロボット 3 台作成。

関西万博に出展し、夢洲から平城京跡（距離約 42km）をリモート観光するイベントを実施。

距離的制約を超えて、同じ時間に複数箇所で存在できるというアバターロボットの特徴を活かした観光を可能にした。アバターロボットの開発だけでなく、アバターロボットそのものの認知向上を目指した。



5 月

けいはんなアバターチャレンジ大会にて、3 台出場
1 位、2 位、部門別 1 位を獲得。

また、10 チーム（他大学、企業も参加）のなかで唯一アバターロボットによる遠隔操作で、マクドナルドでの買い物に成功。

地元新聞等にも取り上げられた



6 月

代表を含めたコアメンバーを 1～3 年生中心に再編成。

新たな目標「双方向インタラクションできる飛行アバターロボットの開発」を設定。
さらに新メンバーの募集を開始し、最終目標を 2026 年 4 月の Maker Faire Kyoto に設定。

3. 今後の活動予定

新たなメンバーと共に「双方向インタラクションできる飛行アバターロボットの開発」を目指す。
具体的な予定は以下の通り

- 7 月 新メンバー募集，補助金等から資金集め，必要な材料の策定・購入，大まかなシステム構築
- 8 月 センサー・ロボットを購入，風圧を感知しそれをフィードバックするシステムの開発開始
- 9 月 フィードバックシステムの開発